

学校だより

芦花 junior
High school



NO. 3

令和8年 6月26日
世田谷区立芦花中学校
校長 風間 浩也

地域に愛され、地域に貢献する学校を目指して～「学校運営協議会」制度の再構築～

校長 風間 浩也

梅雨の晴れ間の強い日差しが照る日であっても、本校北側の遊歩道は葉桜のアーチに覆われて心地よく、ほっとする濃い日陰が作られています。本校の桜は、今は暗渠になっている烏山川に沿って植わっているのも、緑道（かつての川）を覆うように横に枝が伸びています。頭上を覆う葉桜の木陰の下で近隣の地域の方々が犬の散歩の途中に立ち話をされていたり、幼稚園・保育園帰りのお子さんとしばし休まれている光景を見ると、花の季節以外でも「地域に愛されている桜」だと私まで嬉しく、誇りに思っています。ソメイヨシノの寿命は60年～80年と言われており、本校は66周年を迎えるところで、桜も随分と高齢化が進んでいます。一部の幹にはサルノコシカケが生えていたり、腐食したりしている心配な部分も見られます。昨今は本区でも倒木のニュースが報道されるなどしておりますが、本校の桜も毎年樹木医に診断を受けながら、心配な枝を落とすなどの処置をして「地域に愛されている桜」の樹を何とか延命したいと思っています。

先日、地域の会合に出席した際に、とある方から本校の校歌の作詞者である「野上彰」氏のことを調べてほしいという依頼がありました。校長室金庫に眠る古文書のような資料をいくつか検索する中で、「創立5周年記念誌」に開校当時になかった校歌が、開校4年目（昭和39年2月）に漸く出来た経緯が書かれている文章を見つけることが出来ました。待望の校歌は、作られた当時から非常に愛され、親しまれていた様子が描かれていてとても興味深く読ませていただきました。一般的には、校歌の校名は曲の最後に出てくるものですが、本校の校歌は曲の途中に「あゝ芦花中学校」というフレーズが登場します。最初に聞いた時には不思議な感じがしましたが、今では他にはないオリジナリティーのある校歌を誇らしく思います。

また、開校当時の記述には、校庭に川が流れ、芦が茂り、地面がデコボコで、地域の方、先生も生徒も総出で校庭作りの作業をしたことなどが、多くの方のエピソードとして語られています。その中で、当時のPTA会長を中心に、昭和38年に樹木が多数寄贈され、北側にソメイヨシノ、南側にイチョウなど、本校の周囲にPTAや地域の方の手によって植樹されたと記されていました。そのような記述を読んだ後に、今では区内随一の広々と平らな校庭や様々な思いが込められた本校の樹木たちを見ると感慨もひとしおであり、地域に期待され、愛されてきた芦花中の歴史を大切に受け継がなければならないという思いを強くします。

今年度より世田谷区では地域連携の形を整理し、「学校運営協議会制度」として改めて全校に組織を立ち上げたところです。いわゆる「コミュニティ・スクール」と呼ばれる「地域運営学校」としての機能をより明確にもたせようという意図だと捉えています。このことにより、芦花の子ども達を核として、学校と地域がより一層密接になり、「地域の学校」としての性格がより強くなることを期待しています。しかしながら、開校当時の記述を読むと、そもそも芦花小中学校は、地域の方々が、強く、熱い思いを込めて誕生させ、育て、運営してきた学校だと分かります。開校当時とは時代は異なっていますが、歴代の校長先生方が目指していたように、改めて「地域に愛される学校」にしていきたいと第20代校長として強く思っています。これまで地域の皆さまには、授業や放課後の検定などで地域人材を派遣していただいたり、職場体験でお世話になったりと、子ども達の「学びを充実させる」取組を行っていただきました。それに留まらず、これからは中学生が地域に貢献できることはないか、「地域の担い手作り」という視点でも、地域との結びつきを強くしていきたいと考えています。

6月13日には、芦花中学校を拠点とした「避難所運営訓練」を実施しました。例年、多くの中学生がボランティアとして参加していますが、今年度はさらに一歩進めて、7月18日、19日に中学2年生を対象に避難所に見立てた体育館に実際に宿泊する「防災キャンプ」を開催します。昨年度から、避難所運営委員、PTA、上祖師谷まちづくりセンターの皆さまに協力していただき、準備を進めてきました。この活動を通して、「地域防災の担い手」を作り、芦花の地域の「防災力」を高めていきたいと考えています。「いざ」という時に、頼れる若者が支えてくれる地域にしていくことは、高齢化が進む世の中においても、関係性が希薄になっていると言われる都市部においても、特に必要な方向性です。このことに留まらず、地域を愛し、地域に恩返しができる人材を育ていけるよう、今後とも芦花の子ども達、巣立った若者達を見守っていただけましたら幸いです。

第66回 体育祭

6月6日(土)、体育祭が実施されました。昨年度から、熱中症予防の観点から、午前中にすべての競技を実施することになりました。内容を凝縮してのプログラムでしたが、時間的余裕もあり、水分補給など十分に確保しながら実施することができました。

「笑顔満祭 (えがおまんさい) ～ 絆をつなぐ 終わりにき挑戦 ～



体育祭実行委員会が中心となって決めたこのスローガンを達成させるべく、学級、学年、そして全体が1つになれるよう、学年種目や全校種目の大縄など、たくさん練習を重ねてきました。

今年度3年目となる「集団演技」。まさに全校が1つになり、曲に合わせて、隊形移動を繰り返します。約350名の生徒が、ぶつかることなく

クロスして行進をする姿は迫力があり感動的でした。

多くの保護者、地域の方々に御来校、応援していただき、本当にありがとうございました。昼食時に PTA よりいただいたスポーツドリンクも、生徒の熱中症予防に大活躍でした。改めて感謝申し上げます。裏面に保護者の皆様からいただいたアンケートを記載しております。今後とも、芦花中生の成長を見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。



避難所運営訓練

6月13日(土)、芦花小中学校を会場に、避難所運営訓練が開催されました。地域の方々と共に、大地震などが起きて、学校が避難所になったとき、何をするのか、何が備えてあるのかなどを実際に体験するために、毎年行っているものです。



今年度も芦花中生は総勢46名がボランティアとして集まり、地域の方々と共に、マンホールトイレの設置や受付、炊き出し訓練の手伝い、体育館の避難場所の設置など、大活躍でした。ボランティア活動を通して、地域に貢献することの大切さを学ばせていただきました。地域の中の一員として活躍し、やがては地域の担い手として貢献する若者になってくれることを期待しています。



7月の主な行事予定

- 1日(水) 校内研修会
- 6日(月) 全校朝礼
- 8日(水)～10日(金) 職場体験(2年)
- 13日(月) 生徒会朝会
- 14日(火) 避難訓練
- 16日(木) 給食終
- 17日(金) 終業式

【夏休み】

- 18日(土)～19日(日) 防災キャンプ(2年希望者)
- 21日(火)～24日(金) 三者面談
- 21日(火)、22日(水) 夏期課題サポート教室
- 30日(木) 生徒会サミット



体育祭保護者アンケート ご紹介

(多くの方にご協力いただきましたので、一部ご紹介いたします。ホームページには、すべて掲載いたします。)

★Ⅰ 体育祭を通して、お子様の日々の様子や成長する姿を見て、感じたことをご記入ください。

・初めての中学運動会、2、3年生の先輩達に負けじと一緒に精一杯頑張っていて、見ていて頼もしく楽しかったです！
・体育祭実行委員の学年リーダーに選ばれて、先輩たちとも上手くコミュニケーションをとり、対応していたようです。責任感を持って対応していました。
・小学校よりクラスが少なくなり、より学年全体のことを把握しているようで視野の広がりを感じました。
・中学校の体育祭は小学校の運動会と全く雰囲気が違い、競技を頑張る姿よりも、仲間と考え、悩み、作り上げていく姿に成長を感じました。だからこそ、勝った時の喜びも負けた時の悔しさも本気で、その素直な感情がとても印象的で胸が熱くなる体育祭でした。
・チームで一致団結してみんなで頑張る！仲間がいる楽しさ、嬉しさが強く伝わってきました。中学で部活を通し先輩や仲間との良き出会いとクラスがとても良いクラスで毎日が充実していること、担任の先生のこと大好きなこと、毎日弾丸のように報告してくれて当日もとっても楽しかったと、満足して帰ってきました。前向きでキラキラした姿をみて良い経験をさせていただいているなと感謝の思いです。すでに来年の体育祭の意気込みを語っています。
・1年生にも役割分担があり、先輩にリードされながら、準備などを一生懸命やっていた。3年生の方も後輩を引っ張っていこうと頑張る姿が頼もしかった。
・誰よりも大きい声を出す、練習があるから早く登校するなど、誰に言われるでもなく目標を決め進んでいるところが素晴らしかったです。
・集団演技や大縄について、その日の練習の様子や修正が必要なところなどを家で話していました。担当する放送の原稿を見直したり、選曲をしたり、楽しそうに体育祭の準備をしていました。
・集団で一つのことに力を合わせる体験は、非常に重要と感じました。
・全員リレーでみんな真面目に走っていたのが良かった。I組の子が走り終えて喜んでた姿も見れてとても良かったです。
・きついと言いながらも毎日楽しみながら練習を重ね仲間と一つの目標に向かって取り組む姿に成長を感じました。
・運動が得意ではないため、体育祭を見られることにも不安があったようですが、毎日の練習を積み重ね、本番をなんとかやり遂げました。苦手な事から逃げずに向き合う姿に成長を感じました。
・娘は、クラスの仲間と、どうすれば全員リレーで勝てるかを考え、それぞれが力を発揮できるよう、応援を頑張ることや、バトンパスの練習に一生懸命取り組むことを話していました。体育祭を通じて、自分のことだけでなく、仲間と協力し互いの力を引き出すことの大切さを学んだ様子がうかがえ成長を感じました。
・準備から当日まで一所懸命に取り組んでいることを見てきて、眩しく羨ましく思いました。これぞ青春！
・委員長になったと聞いた時は驚きましたが、必ず最後までやり抜くという気概を感じ、とにかく毎日元気で過ごしてくれるよう願っていました。本番では本当に本当によく頑張りと、色々な方々にお誉めの言葉をいただきました。かけがえのない体験になったと共に、自信に繋がったと思っています。
・中学3年生として身体的な成長を実感した。
・3年生として最後の体育祭に向けて当日までも頑張っていたのは感じられましたが、今日の姿を見て、一生懸命に取り組む姿に誇らしく感じました。自信がついたのだなと思いました。

★２ 体育祭全般で感じたことや気づかれたこと、その他等ご自由にご記入ください。

・午前中に競技がまとめられていて、見やすく体力的にもちょうど良かったです。気候も暑すぎず、ちょうど良い時期だと思いました。日々の職員の方々のご指導に感謝です。
・初めての体育祭を参観し、上級生が下級生に対し大きな声で応援している姿に、優しさや責任感を感じ、とても感動しました。ありがとうございました。
・参加競技や係の番が来るとさっと移動するなど、自発的に動いている様子に感心しました。
・先生方、PTAの皆様やご関係者の皆様。子供たちの為に本当にありがとうございました。どの種目も盛り上がり楽しませていただきました。各チーム毎の応援合戦もみたかったなぁと思いました。
・芦花中のみなさんは、とてもしっかりとしていました。全体にまとまりがあり、競技の進行もスムーズで（係の生徒さん達の動きも良くて）、見ていてとても気持ちよかったです。集団演技、中学生でもレベルが高いと思いました。素晴らしかったです。
・全校生徒がある程度、顔のわかる人数で、１～３年生まで仲の良い学校だと思った。生徒以上に先生方が本気なのが、生徒に良い影響を与えていると感じた。
・集団演技がみにくかったので、保護者応援エリアがもう少し広いといいなと思った。
・三年生が一生懸命取り組む姿が一二年生にとっても良い影響を与えているように見えました。尊敬する先輩達がいることで学校生活全てに良いお手本、道標となると思います。三学年合同の競技は人が多く前がよく見えなかったです。最前列はしゃがんでくれると全員が見やすいかと思います。大縄跳びには特に感動しました。ありがとうございました。
・暑い中、練習や準備をしてくださり、先生方に感謝しております。
・集団種目の際に遅れてきた生徒をみんなで拍手したり、お疲れーと声をかけていた姿に生徒たちの思いやりを感じました。また、校長先生が明るい雰囲気です。声かけしていたのも良かったです。I組の生徒の頑張りがすごくてびっくりしました。とてもよい体育祭でした！ありがとうございました。
・観やすく、丁度良かったです。学年ごとの保護者の入れ替えがあると、もっと観やすくなると思いました。
・支援級に対してちょうど良い感じの合理的配慮があり、とても良いと思った。大縄跳びやリレーでI組のたくましが素晴らしかった。
・小学校の運動会が保護者向けの内容であるのに対して、中学校の体育祭は自分たちの目標に向かって、仲間と協力して取り組んでいるように感じました。その違いが子どもたちの成長の姿なのかなと、とても嬉しく拝見しました。先生方、暑い中、連日指導していただき、ありがとうございました。
・大縄の全クラス同時はかけ声の混同、スペースの狭さを踏まえて、前半戦は学年だけで行い、後半戦は、回数順で飛ぶなど、同時に飛ぶクラスを減らしたらどうかと思った。一部、校舎２階などから観覧できるようにしたらどうか？小さいお子様や休憩室を兼ねた、暑さ対策のためにも涼む用の部屋を一室だけでも作って、その部屋からも観覧できるととてもいいと思う。特に集団演技の行進は上からみてみたい。
・子ども達が真剣に競技に取り組む姿を見ることができ、とても感動しました。色別対抗リレーや大縄に関しては、学年を超えて応援する姿も素晴らしいと感じました。こうした素晴らしい体育祭は、先生方の丁寧なご準備や日々のご指導があってこそ実現できたものだと思います。心より感謝申し上げます。
・競技の長さも、去年より見やすかったです。ありがとうございました。
・時間も競技も短縮となりましたが、今回のように閉会式を午後に充てることは、観覧側にとっても良かったと思いました。幸い程よいお天気でしたが、ここ数年の暑さを考えると、先生方や生徒にとってもこういう対応をしていくのが大切だと感じました。
・競技が午前中まででしたので閉会式も続けて行った方が効率が良いと感じました。